

サンティアゴ・デ・ コンポステーラ



www.spain.info



産業観光商務省

出版元: © Turespaña

作成: Lionbridge

NIPO: 086-17-059-4

無料配布

パンフレット内容については万全を期して作成いたしましたが、お気づきの点がございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせください。

表紙: アラメダ公園

写真: サンティアゴ・デ・コンポステーラ観光局

裏表紙: サンティアゴの大聖堂

写真: サンティアゴ・デ・コンポステーラ観光局

目次

| | |
|----------------------------------|----|
| はじめに | 3 |
| サンティアゴの街歩き | 4 |
| 文化 | 10 |
| サンティアゴ・デ・コンポステーラを味わう | 12 |
| サンティアゴ・デ・コンポステーラ の四季を楽しむ | 14 |
| 自然 | 17 |
| 親子で楽しむサンティアゴ・デ・コンポステーラ | 18 |
| 街の隠れた名所 | 20 |
| サンティアゴの夜 | 23 |
| 街の散策ルート | 24 |
| サンティアゴ巡礼の道 | 24 |
| サンティアゴ・デ・コンポステーラ 周辺の訪れるべきスポット | 25 |
| サン・セバスティアンへのアクセス | 26 |

はじめに

多くのモニュメント、言い伝え、巡礼者たちであふれるサンティアゴ・デ・コンポステーラでは、まるで魔法にかかったような感覚を味わえます。歴史が息づく街で、興味深い文化、手つかずの自然、ハイレベルな食文化を満喫しましょう。

サンティアゴ巡礼の道を辿る巡礼者にとって、この街の大聖堂は旅の終着地です。毎年何千人もの巡礼者が訪れ、貴重な体験を共有します。巡礼者のためのミサに参加すれば、きっと忘れられない思い出が作れるはずです。石畳が続く街の歴史地区で、入り組む路地を散策するのも良いでしょう。

また、サンティアゴは**学生街**でもあります。お気に入りのバルやパブ、テラス席、ナイトクラブを見つけ、若者に交じって賑やかなナイトライフを味わってください。**レジャーや文化**に富み、音楽、カンファレンス、演劇、映画、コンサート、特別展、フェスティバルなど多くのイベントが一年中行われています。

サンティアゴ・デ・コンポステーラは伝統を重んじる街です。大規模な祭りがたくさんあり、毎年7月に開催される**聖ヤコブ祭**では、花火大会を始め、音楽、ダンス、演劇、パレード、フェア、屋台、ワークショップなど、老若男女問わず楽しめるアクティビティが用意されています。

ガリシア州の中心に位置し、海や郊外などへ小旅行に出かけるにも便利です。トレッキングや魚釣り、ゴルフなどのアウトドア**スポーツ**には持ってこいの恵まれた環境が整っています。

美食を堪能するのもお忘れなく。ご当地**グルメ**は、貝、魚、子牛肉が三大名物で、予算に応じて居酒屋、小料理屋、レストランなどで味わうことができます。

光が降り注ぐ歴史のある街。着いた瞬間から居心地の良さを感じさせる街。風景が目に焼き付き、記憶に残る街。そんなサンティアゴは、さまざまな表情を持ち、訪れる人々を楽しませてくれます。



サンティアゴの街歩き

城壁の内側と外側という2つの象徴的な地域で、街の魅力を満喫しましょう。



▲ オブラドロイロ広場

城壁内側

千年を超える歴史を持つ街を散策し、ここでしか見ることのできない遺産を訪れてみましょう。旧市街では素晴らしい花崗岩の建物に囲まれた狭い通りが入り組み、そこに宮殿、教会、大邸宅、広場などが点在します。まるで時間が止まったような空間は、現代にいるのか、ルネサンス時代やスペインの黄金時代にタイムスリップしてしまったのか、わからなくなるほど。その美しさが評価され、サンティアゴはユネスコの世界遺産にも登録されています。

11世紀に建設が始まった**大聖堂**は見逃せません。建築様式としては、バロック様式、ゴシック様式、新古典主義様式が混在していますが、スペインで最も素晴らしいロマネスク様式の建築芸術とされています。壮大な身廊にはバロック様式の**主祭壇**があり、その背後には、素晴らしい天蓋の下に小聖堂が設けられ、信者を正面に見据える形で使徒ヤコブの像が鎮座します。片側からは、狭い通路を歩いてヤコブ像の背後に回ることができます。

典礼によっては、ボタフメイロ（巨大な香炉）が大聖堂の中央通路の上を大きく揺れ動き、大聖堂中を香の匂いで満たす様を見学することができます。また、何百年も前の貴重な資料や書籍が保管されている大聖堂のアーカイブと図書館も一見の価値があります。建物の屋根に上って、街の素晴らしい景観を楽しむのも良いでしょう。

大聖堂の西側には**オブラドイロ広場**があり、大聖堂の正面ファサードが広場に面しています。バロック様式が美しいファサードは、**栄光の門**まで続く外階段が特徴的です。門には、キリストとその四人の使徒を中心とした200体を超える花崗岩の像でできた、ロマネスク様式の3つのアーチが見られます。

サン・マルティーニョ・ピナリオ修道院（エル・エスコリアル修道院に次いでスペインで2番目に大きい修道院）と大聖堂北側ファサードの間には、**インマクラダ広場**があります。この広場は**アシバチェリア広場**とも呼ばれており、その名は昔、黒玉彫刻に従事する工房が軒を連ねていたことに由来しています。

大聖堂の南側には、最も小さい**プラテリア広場**があり、大聖堂唯一のロマネスク様式のファサードを見ることができます。中世の頃、この広場には金銀細工師が工房を構えていました。

サンティアゴ旧市街の象徴的な場所に数えられる**キンタナ広場**にも足を運んでみましょう。ここでの見どころは、街中どこからでもその姿を目にすることができる**時計塔**です。蜘蛛の巣のように入り組む路地で、バロック様式の家を見て回ったり、雰囲気の良い店で土産物を買ったりと、散策を楽しみましょう。ちょっと休憩するにも、タベルナなどがすぐに見つかります。大聖堂の西側ファ



▲ サン・マルティン・ピナリオ修道院

サードと、聖年にしか開かれることのない**聖なる門**が広場に面しています。

城壁内側には古い貴族の邸宅や市民による建築物が散在し、過ぎ去った時間が正真正銘のモニュメントへと昇華させています。**デアン邸**、**カビド邸**、**コンガ邸**、**ポマス邸**、**フォンデビラの館**、**バーモンデの館**などを探してみましょう。大聖堂のすぐ横を走るノバ通りは、旧市街で最も交通量が多く、数々の街のモニュメントを目にすることができるでしょう。

▼ 栄光の門





オブラドイロ広場では、**ラショイの館**をお見逃しなく。新古典主義様式の宮殿で、現在はサンティアゴの市庁舎となっています。また、旧エピスコパル宮殿としても知られる**シェルミレスの館**は、コンポステーラの初代大司教ディエゴ・シェルミレスの求めに応じて建設されたもので、現在はイベント会場として利用されています。そのほかにも、現在はサンティアゴ大学学長室棟として使われている**聖シェロメ学校**などが見られます。

そこからすぐの場所にある**コレシオ・デ・フォンセカ**は、ルネサンス様式のファサードを持ち、美しい中庭を備えた内庭回廊からは大聖堂の姿を望めます。元はコンポステーラ大学があった場所で、現在は**大学総合図書館**となっています。また、旧食堂や礼拝堂では、期間限定の特別展なども行われています。

このガリシア州の州都は、毎年何千人もの学生たちがやって来る学生街でもあります。貴重なモニュメントとしての大学の歴史は5世紀を超え、その歴史を知るガイド付きツアーも開催されています。ツアーは、建築物や街の学生生活について知っておくべきことすべてを網羅しています。特に見どころが多いのは**地理・歴史学部**です。市内中心部から離れたノルテ大学、スール大学のキャンパスは、アカデミックでありレジャーの要素もある独特な環境です。



オブラドイロ広場には、多くの興味深い歴史的建造物が集まっています。現在パドールとして使用されているオスタル・デ・ロス・レジェス・カトリコスには、見事なゴシック・プラテレスコ様式の入口と、大きな4つの中庭があります。

サンティアゴ・デ・コンポステーラ

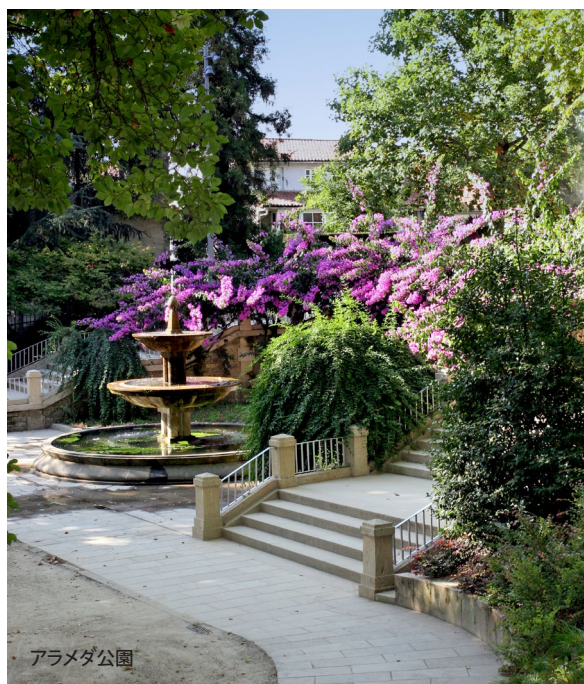
城壁外側

モニュメントのほとんどは街の旧城壁内側にありますが、旧市街の外側にも多くの魅力的な場所が見つかります。公園や緑あふれる場所を散歩してみましょう。修道院や僧院、街を象徴するモダンな建造物を目にすることができます。

▼ アラメダ公園



写真:サンティアゴ・デ・コンポステーラ観光局



アラメダ公園

アラメダ公園は街の住民にとって憩いの場。ぜひ緑の中を歩いて癒されてください。行き先を決めず、のんびりと散歩を楽しみ、感性を研ぎ澄ませましょう。この穏やかで魅力的な都市のオアシスのあちこちに、ガリシア生まれの陶磁器メーカー、サルガデロスの神秘的なベンチなど、彫像や彫刻作品が隠れています。中でも最も興味深いのは、鮮やかな色合いの服装と化粧が目を引く二人のマリア像です。庭園への入口に佇むこの像は、フランコ独裁時代に抑圧された姉妹たちへのオマージュとして建てられたものです。園内には、バロック様式のピラール聖母教会や、17、18世紀に建設されたものを再建した

サンタ・スサーナ礼拝堂などもあります。この礼拝堂もバロック様式ですが、建設当時のロマネスク様式の要素も目にすることができます。

サル地区を横切り、**サンタ・マリア・ラ・レアル・デ・サル参事会教会**を訪れましょう。12世紀に建てられた教会で、ロマネスク様式の質素な外観と、美しい内観が際立ちます。サンティアゴ市内唯一のロマネスク様式の中庭回廊が残されており、小さな宗教美術館も兼ねています。



写真:サンティアゴ・デ・コンポステラ

▼ サンタ・マリア・ア・レアル・ド・サル参事会教会



文化

サンティアゴには豊かな文化があります。1平方メートル当たりの美術館・博物館の密度が非常に高いのがこの街の特徴です。**大聖堂博物館**からスタートしましょう。大聖堂の歴史や美術作品、そしてサンティアゴ巡礼の道についての展示があります。過去へとタイムスリップして、9世紀の聖墓発見に始まりどのように大聖堂が建設されたのかを知り、素晴らしい所蔵美術品を見て回りましょう。期間限定で

すが、興味深い特別展も定期的を開催しています。

サン・パイオ・デ・アンテアルタレス修道院でスピリチュアル体験を締めくくりましょう。内部には**宗教美術館**があり、13世紀のキリスト教美術の至宝や、聖ペラヨの腕が保管されている聖遺物箱、1610年の聖ベニートの戒律における資料などが展示されています。

大聖堂博物館





アゴ・デ・コロンボスター観光局

▲ シダーデ・ダ・クルトゥーラ

続けて**ガリシア民俗博物館**を訪れましょう。サント・ドミンゴ・デ・ボナバル修道院の跡地に建設され、主にガリシア地方の民俗文化研究が行われています。海を舞台に育まれた文化、伝統的な職業、一般的な農業形態について学ぶことができます。

ビスタ・アレグレ公園の中にある**サンティアゴ大学の自然史博物館**では、ヨーロッパ大陸の水とガリシア州の森林の生態系や、鉱物見本からわかる地質的多様性、ガリシアの固有種植物に特化した展示室を見て回ることができます。また、入館者向けにさまざまなアクティビティも行われています。

シダーデ・ダ・クルトゥーラでは、ガリシア州における最も壮大な建築物のひとつ、**ガイアス・センター美術館**を目にすることができます。わかりやすいためになるワークショップのほか、期間限定で素晴らしい美術作品が見られる特別展も開催しています。美術

館の広大な敷地内に、図書館、新聞や雑誌の閲覧室、スタディセンターなど大規模な芸術施設を完備し、ガリシア州らしい景観が楽しめる森が広がります。

① 参考リンク:

www.museodopobo.gal

www.cidadedacultura.gal

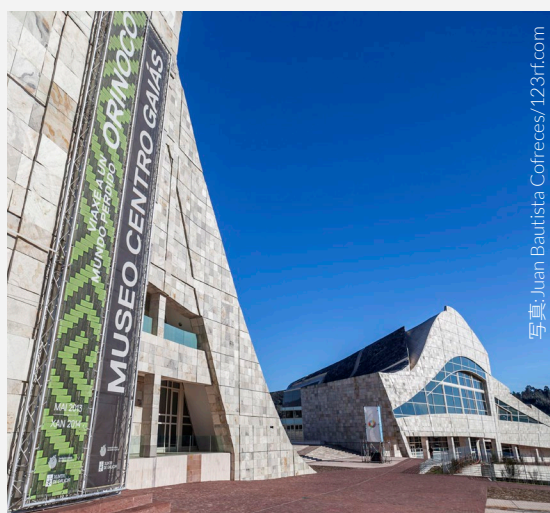


写真: Juan Bautista Cofreces/123rf.com

▲ シダーデ・ダ・クルトゥーラ



サンティアゴ・デ・ コンポステーラ を味わう

素晴らしい料理の数々を堪能してください。美味しい伝統料理や滋味あふれる採れたての作物、現代的な創作料理などを試し、サンティアゴ・デ・コンポステーラならではのグルメ体験を楽しみましょう。

◀ リアス・バイシャス

伝統料理

ガリシア州と言えば、**最高の品質を誇る新鮮な魚介**が有名です。リアス式海岸の由来にもなったリアス・バイシャスの豊かな海では、アカザエビ、帆立、ムール貝、ロブスター、毛ガニ、ザルガイ、カニ、クルマエビなどが獲れます。街中のシーフード専門店や、大聖堂とフランコ通り、ライニャ通りからすぐの場所にある昔ながらの居酒屋でぜひ味わってください。海の幸には、**アルバリーニョ**、**リベイロ**などガリシア原産の白ワインがよく合います。

タコは、漁場のある海沿いよりも、内陸部のほうが美味しく食べられると言われています。街中のバルやレストランでは、茹でたジャガイモが添えられる**プルポ・ア・フェイラ**を試してみましょう。タコ、パプリカ、塩、オリーブオイル、

タルタ・デ・サンティアゴ(サンティアゴ風タルト)





▲ ブルボ・ア・フェイラ(タコのガリシア風)

ジャガイモと、シンプルな食材で作られるひと皿で、タコの美味しさを十分に堪能できます。ガリシア州では仔牛肉、エンパーダ(具入りのパン)、魚介、肉の詰め物料理などをぜひ食べてみてください。

最後に、サンティアゴ名物のデザート**タルタ・デ・サンティアゴ**で食事を締めくくりましょう。柔らかな食感が特徴的なアーモンドとシナモン風味のタルトに、上から白い粉砂糖がまぶしてあります。

アバストス市場

タコ、イカを始めとする魚介、肉、チーズ、野菜を販売する店が並び、市場で買った食材はその場で調理してもらい、すぐ食べることもできます。また、美

味しいピンチョスやタパス、ひと口サイズの小さなカナッペもあり、さまざまな種類を試すことができます。

創作料理

サンティアゴのグルメは、伝統料理だけではありません。昔の味を大切にしつつ、現代風アレンジされた創作料理をレストランで味わうのはいかがでしょう。シェフたちの個性が活かされた、エレガントで前衛的な料理が楽しめます。革新的な技術を駆使した料理や、新鮮な食材を使った美味しい料理に驚かされることでしょう。市内にある、ミシュランの星を獲得したレストランを訪れば、そうした料理を実際に味わうことができます。

サンティアゴ・デ・コンポステーラ

サンティアゴ・デ・コンポステーラ の四季を楽しむ

サンティアゴはどの季節に訪れても、プランには事欠きません。それぞれの季節ならではの魅力あふれる多くの祭事、文化やレジャーのイベントなどが開催されています。



写真:サンティアゴ・デ・コンポステーラ観光局

夏

サンティアゴの街、そしてスペインの守護神でもある**聖ヤコブ**に捧げる祭りが、毎年7月下旬に2週間にわたって行われます。期間中は宗教心の篤い人々が集まり、観光客も大勢訪れるので、盛大な祭りの雰囲気味わうことができます。街中がお祭り騒ぎに包まれる2週間、さまざまなジャンルの音楽、ダンス、芝居、食事、伝統舞踊、花火、パレードなども楽しめます。どれを取っても、祭りの気分を満喫できること間違いなし。祭りが最高潮を迎えるのは7月24日と25日です。24日と31日には花火大会もあります。サンティアゴの夜空に咲く大輪の花が祭りのフィナーレを飾ります。

街の周辺にあるビーチは、避暑地として人気のスポットです。ア・コルーニャ県オウテスにある**ブローニャ・ビーチ**では手つかずの自然が残り、訪れる人々を魅了します。設備も整い、家族みんなが楽しめる快適な小旅行となるはず。ビーチでは北風が吹き込むこともなく、穏やかできれいな海が満喫できます。

同じく美しい自然そのままの**アギレイラ・ビーチ**は、ヌーディスト・ビーチになっています。入り江に透き通った海が広がり、細かな白い砂浜も特徴的です。自然保護区に指定されているので、素晴らしい環境を満喫できることでしょう。コルベド砂丘群、カレガル湖、ビシヤン湖自然公園にある**ビラルーカレイラ・ビーチ**も 外せません。大西洋に続く外海になっていますので、潮の流れに注意してください。その自然豊かな景観は、息を呑むほどの美しさです。

ムロス川、ノイア川、アロウサ川の河口にもビーチや入り江があり、水遊びを



写真:サンティアゴ・デ・コンポステーラ観光局

▲ 聖ヤコブ祭

楽しめます。ただその場に立って、砂浜や打ち寄せる波、周りの素晴らしい自然環境を眺めるのも良いものです。

水遊びできるスポットは海辺とは限りません。近場に、河川ビーチがすぐ見つかります。水遊びをしたり日光浴をしたりして、のんびり過ごせます。**ア・タロエイラ、チャイアン、シラ、フレロス、インスアス・デ・サン・ラモン、リニャレス、オー・レフシオ**が特におすすめです。



写真:サンティアゴ・デ・コンポステーラ観光局

▲ プラテリア広場

秋

夏休みが終わり、学生たちが戻って来ると、街は学生街としての賑やかなムードを取り戻します。この時期におすすめなのが**国際操り人形劇祭**です。10月中旬に開催され、ガリシア州だけでなく、スペイン、そして世界から著名な劇団がこの街に集結します。さまざまな演目があるので、好みの条件に合う作品がきっと見つかります。11月には、**シネウロパ・フェスティバル**によって、この季節の総仕上げが行われます。ほかの映画祭の受賞作品から、ドキュメンタリーやインディーズ映画まで、さまざまな作品が上映されます。

サンティアゴ・デ・コンポステーラ市内と周辺の村々の各所で行われる**マゴスト**の祭りは、大きなたき火や美味しい栗、前年に収穫された葡萄で造った

ワイン、伝統音楽などが楽しめ、とても人気があります。村々では特に趣ある雰囲気を楽しむことができます。

冬

寒さと雨で幻想的な雰囲気を漂わせる、サンティアゴの街。歴史を刻んだ石畳はさらに趣を深め、街に散在するモニュメントは独特のオーラを放っているように見えます。

クリスマスになると、街路に装飾が施されたり、「ベレン」と呼ばれる伝統的なキリスト降誕の場面が再現されたり、青空市場が開かれたりします。加えて、コンサートやパレード、舞台芸術などのアクティビティで構成される特別イベントも開催されます。2月のハイライトはユニークな**エントロイド・ドス・シェネライス**のカーニバルです。合唱団、仮装行列、音楽隊から構成される軍隊がバルド・ウリャ地域を練り歩き、華やかな衣装を身にまとった将軍たちが風刺の効いた愉快的な弁舌対決を繰り広げます。冬に別れを告げるのは**サン・ラサロの大衆巡礼**と**豚足グルメ祭り**です。街の入口付近で開催されるこの祭りでは、宗教色の濃い独特な雰囲気を感じつつ、グルメも堪能することができます。

春

気持ちの良い季節の到来とともに、人気の祭りが数多く開催されます。**春祭り**は毎年4月から5月の間に行われます。工芸品の露店、音楽、文化的イベント、ワークショップ、パレード、天体観測など、驚きがいっぱいです。5月には**昇天祭**が一週間にわたって開催され、開催期間中は文化・娯楽イベントも数多く行われます。



▲ サレラ散歩道

自然

街のすぐそばまで自然が迫る環境は魅力的です。緑の美しい地域や海岸線へ足を運んでみましょう。カヤックでの川下り、ハイキング、ゴルフ、ダイビングなどアウトドア・アクティビティを楽しむことができます。難易度の低い自然の小道をハイキングしたり、街の中心部からたった15分の場所にあるレクリエーション・エリアで、サル、サレラ、タンブレ、ウジャ川の川岸を散歩するのもおすすめです。魚釣りをしたり、ゆっくり休憩を取ったりするのにちょうど良い穴場が見つかるでしょう。

サンティアゴとオウレンセを結ぶ街道の中ほど、ラリンの郊外には**カタソスの**

岩場があります。ここでは、ヨーロッパ有数のオークの巨木が見られ、栗林を通り抜ける気持ちの良いトレイルも楽しめます。

サクラ・デ・オリベス池の湿地帯には、豊かな丘と湿った牧草地が広がります。ア・エストラータ、フォルカレイとシジェダの中間に位置し、ガリシア州特有の動植物相（オオカミ、キツネ、白ワシ、ワシのひな、タカなど）が見られます。

そこからほど近い**ピチョ・デ・クランテス**も素晴らしい自然が広がり、**ピチョ・デ・フェルベンサ**、**ポサ・デ・マイモン**と呼ばれる滝があります。

親子で楽しむ サンティアゴ・デ・コンポステーラ

ガリシア州の州都サンティアゴには、親子で楽しめる数多くのレジャー施設があります。忘れられない思い出を作りましょう。

サンティアゴ大聖堂での建物見学ツアーでは屋根にも上ることができ、街のモニュメントの秘密を探る体験は驚きの連続。親子で楽しむのにぴったりです。

橋から橋へと辿っていくルートは、ウジャ川に沿ってレメスキデ橋(トウロ地区リベイラ教区)とポンテデスマ(ポケイション地区)を結び、3つのレクリエーション・エリアを通ります。



ガリシア現代美術館は家族向けワークショップを企画しています。子供たちに芸術体験をさせてみるのはいかがでしょう。また、ガリシア民俗博物館や魔法博物館など、その他の博物館も気に入ってもらえるはずです。

トレッキングは、難易度の高いルートが数多く用意され、子連れでも安心。

▼ ガリシア現代美術館



難易度「中」の**アス・カンテイラス・ダ・ペドラ・モナ環状ルート**は、その豊かな自然と文化、ウジャ川に向かって開けた河口の素晴らしい景観で人々を虜にします。スタート、ゴール地点はレキアンです。道中、水車やオレオ（ガリシア地方の高床式の倉）、穀物倉庫なども見られるでしょう。

この地方固有の動植物相がよくわかる、パラダ教区にあるブショス水車もおすすめのスポットです。ここは**アウガ・デ・パラダ PR-G 124** ルートの出発地点となっています。

メラ川の自然が美しい河川敷を行く小道は、ア・タロエイラの川岸ビーチからゴンサル教会に向かうルートです。道中で見られる植物には、植物名がわか

る札が付けられており、固有の植物相を知るのに最適です。

マスが有名な**チャイアン・フィッシング保護地区**は、初めての釣り体験はもちろん、腕を上げたい釣り人にもおすすめのスポットです。

アルスア地区からウジャ橋までの25キロを市道AC-240線に沿って走る**サンティアゴ巡礼の道（フランス人の道）に代わるルート**を自転車で行くのも良いでしょう。道中に散在する、この地ならではの素晴らしい建築群を見ることがもできます。

① 関連情報：

<http://cgac.xunta.gal>

▼ ボナバル広場



写真：サンティアゴ・デ・コンポステーラ観光局



街の隠れた 名所

時間に余裕があれば訪れたい、おすすめスポットはまだまだたくさんあります。好みに合うスタイルで、街の魅力を探しに出かけましょう。

▲ コンポステラ音楽公園

公園と庭園

市内には400ヘクタールを超える緑地があります。広大な**湖水公園**では、街から出ることなく自然を満喫することができます。舗装された遊歩道が通り、テーブルやベンチ、ランニングコースなどがあるレジャー・エリアがオーク林の中に広がります。

そこからほど近くのガイアス山では、何千本もの固有種(オーク、栗、柳、カバノキ、ハンノキ、サンザシ、ナナカマド、月桂樹など)を見ることができます。ここは**ガリシアの森**と呼ばれ、街の緑のオアシスとなっています。遊歩道や休憩所、展望台などもあります。

講堂のすぐ横には**コンポステーラ音楽公園**があります。小川が流れる草原には、エウヘニオ・グラネルのシュールレアリスムの彫刻も見られ、その意外な光景と歴史ある街とのコントラストが目に見え、鮮やかです。

カルロマグノ公園の展望台へも足を運びましょう。カンテイラの丘の上からは、サンティアゴの街の素晴らしいパノラマが望めます。

ペドロソ山中腹に位置する**グランシャ・ド・シエスト公園**は、街の公園らしい様相と、森、見晴らしの良い地形が見どころです。スポーツしたり、休息を取ったりするのに適した自然環境が広がります。ここでは、数あるトレイルの起点にもなっています。頂上まで続く十字架ルートではガリシア特有の石造りの十字架が見られ、頂上からは豊かな自然に囲まれたサンティアゴの街の眺望を楽しめます。

市街地のはずれには、広大な牧草地が広がる**ガレラス公園**があります。サレラ川のほとりからコルゴの小川へと続く広大なエリアは、散歩やスポーツを楽しむほか、幼児が遊ぶにもぴったりの場所です。

知る人ぞ知る

博物館・美術館

巡礼博物館には彫刻や絵画、イコンなどが所蔵され、サンティアゴ巡礼の道について詳しく学ぶことができます。内部は8つの部屋に分かれ、使徒信仰の起源、巡礼の道の始まりとその広がりについて、また街の職業別組合であるギルドの芸術的影響などが、わかりやすく展示されています。



写真:サンティアゴ・デ・コンポステーラ観光局

▲ サンタ・マリア・サロメ教会

ほかとは違うユニークな美術館・博物館を探しているなら、**カサ・デ・トロイア**がおすすめです。19世紀の学生生活がどのようなものだったか想像したことはありませんか?ここでは、アレハンドロ・ペレス・ルヒンの不朽の名作「トロイの家 (La Casa de la Troya)」の伝説的な「ドーニャ・ヘネロサ (善良なご婦人)」で有名な寄宿舍が再現されています。

モニュメント

ノバ通りの中ほどにある**サンタ・マリア・サロメ 教会**には、彫刻でできた塔やバロック様式の彫刻作品があり、使徒サンティアゴの母親が祀られています。そのすぐ近くに建つ**パン・デ・ベンダーニャ**にはグラネル美術館が入っています。正面ファサードにある圧巻の盾を見上げてみましょう。

コンポステーラの街では、どこを訪れてもさまざまな魅力に出会えます。



写真: Juan Bautista Cofreces/123rf.com

▲ メノール神学校

サンタ・クララ通りでは、**カルメン修道院**、**サンタ・クララ修道院**、**サン・ロケ教会**というバロック様式の3大至宝を目にすることができます。街の散策中にぜひ立ち寄ってみましょう。

自然の堀によって、モニュメントが集まる地区から隔離された場所に、**ベルビス修道院**や豪壮な**メノール神学校**があります。ここを訪れたなら、**ベルビス公園**にも入ってみましょう。公園の小高い場所からは、街を見渡す素晴らしい眺めを楽しむことができます。



オブラドロ広場

サンティアゴ・デ・コンポステーラの展望スポット

サンティアゴは屋上や展望台の多い街です。高所から見下ろす街は、古い建物の灰色と牧草地の緑が交ざり合い、何とも言えない魅力的な様相を醸し出します。アラメダ公園では手すりの向こうにスール大学キャンパスが望め、写真を撮るのにぴったりです。また、サンタ・スサーナの丘にある**エラドゥラ遊歩道**からは、大聖堂を正面に望む素晴らしい景観が広がり、コンポステーラらしい最高の絵葉書ができ上がります。

街のシンボルとなっている**ペドロソ山**に登ってみるのも良いでしょう。大聖堂をまた違った角度から眺めることができます。いつ訪れても美しく、特に夕暮れ時は、まるで魔法にかかったような幻想的な風景を楽しめます。

サン・ドミンゴス・デ・ボナバル修道院の農園を都会的な公園へと変貌させたのは建築家のアルバロ・シサとイサベル・アギーレです。オーク林や緑美しい芝生でリラックスした時間を過ごしてみてもいかがでしょう。眺めが良く、遠くに旧市街も望めます。



▲ サン・パイオ・デ・アンテアルタレス通り

サンティアゴの夜

サンティアゴでは老若男女問わず、いろいろなスタイルで賑やかなナイトライフを楽しめます。旧市街も新市街も、夜遊びに出かけるのにぴったりの場所です。両市街がそれぞれ持つ特徴(伝統とモダニズム)が街中に分散したことで、新たなスポットも続々誕生しています。

歴史地区の通りは、日が暮れると多くの人であふれ返ります。どの路地にも、パブやバル、カフェがあり、ワインを楽しみながらタパスや大皿料理を味わえます。飲食店が集中しているのはフランコ通り、ライニャ通り、トロイア通り、サン・ペドロ通りとその周辺地域(ポルタ・デ・カミーニョ、トラベサ通り、サント・アゴスティーニョ広場、サン・ロケなど)です。

天気の良い日には、サン・パイオ・デ・アンテアルタレス通り、キンタナ広場、ビラル・イ・ノバ通り、ロドリゴ・デ・パドロ通りにも多くのテラス席が設けられ、街灯に照らされた街並みを眺めながら、ゆっくりくつろぐことができます。

新市街のナイトスポットは、カレイラ・ド・コンデ通り、モンテロ・リオス通り、アルフレド・ブラニャス通り、エル・サルバドール通りに集まります。さらに南へ下り、ロシャ広場、サンティアゴ・デル・エステロ、ノバ・デ・アバイショ通り、サンティアゴ・デ・チレなどを訪れるのも良いでしょう。

街の散策ルート

サンティアゴを知るいちばんの方法は、自分の足で歩いてみることです。名立たるモニュメントを隈なく見て歩くには、3時間弱の**城壁内側ルート**をおすすめします。観光案内所で借りられる、オーディオガイドを利用するのも良いでしょう。**城壁外側ルート**は、サンティアゴの豊かな自然を満喫したい人にぴったりです。

興味深いのは、街に散在する修道院を巡る**ドムス・デイ・ルート**です。

絶景写真をアルバムに収めたいなら、**23枚の写真で綴るサンティアゴルート**をおすすめします。最高に写真映える風景をカメラやスマートフォンで撮影して回ることができます。サンティアゴ観光局のウェブサイトで公開されているビデオガイドもご覧になれます。

① 詳細情報:

www.santiagoturismo.com/rutas

サンティアゴ巡礼の道

千年以上にわたり、巡礼者たちはキリスト教徒にとっての使徒の聖地、聖ヤコブを祀る大聖堂を目指して歩いてきました。サンティアゴ巡礼の道は、素晴らしい風景を楽しみながら、自分探しの旅をするのにぴったりです。

どの季節でも巡礼できますが、それぞれの季節で特色と見どころがあります。文化への興味、篤い信仰心、好奇心、チャレンジ精神など、巡礼を行う動機はさまざまでも、最終的にサンティアゴの大聖堂を目指す点では同じです。大聖堂は巡礼の道の終着地として、巡礼者を温かく迎え入れます。

巡礼の道は徒歩、自転車、馬などで辿ることができ、そのルートもフランス人の道、カンタブリア海沿岸を通る北の道など、さまざまな種類があります。どのルートもわかりやすく標識が立っており、素晴らしい風景の中を進みます。

① www.caminodesantiago.gal では、旅に出る前に知っておきたい役立つ情報が入手できます。





サンティアゴ・デ・コンポステーラ 周辺の訪れるべきスポット

▲ フィンステレ

サンティアゴはガリシア州の中央に位置し、近隣の観光スポットに出かけるにも便利です。日程に余裕があれば、ぜひ**フィンステレ岬**を訪れましょう。北スペインきってのミステリアスな観光地です。昔はこの地が「世界の果て」と考えられており、多くの巡礼者にとっての終着地でもありました。眼前に広がる海と海岸線はとにかく素晴らしく、言葉を失うほどです。

リアス・バイシャスでは、ビゴおよび記念碑的で気品あふれるポンテベドラといった都市と、魅力的な村々(バイオナ、サンシェンショ、コンバロ)を訪れましょう。まるで楽園のようなビーチでは、海の幸を思う存分堪能できます。地元のグルメを満喫するほか、リアス・バイシャス原産ワインで知られる、ガリシア州のワイン用葡萄園に立ち寄るのもおすすめです。

大西洋に面した漁村の雰囲気漂う**ア・コルーニャ**には、リアソール・ビーチとオルサン・ビーチという魅力的なビーチが2カ所あります。市内では中世の面影を残す通りや広場、街のシンボルとなっているヘラクレスの塔も見られます。ローマ時代に建設された世界最古の灯台は、世界遺産にも登録されています。ア・コルーニャではさまざまな文化イベントが開催され、通りは賑やか。グルメも一級品です。街を象徴する、ア・マリーニャ通りの大きなガラス窓の建物が並ぶ風景は必見。その正体は屋内バルコニーで、木の窓枠以外はほぼ全面ガラス張りになっています。室内からの眺めを良くしたり、夜明けとともに明るい光を取り入れたりするためのものです。


El Transcantabico
GRAN LUGO

サン・セバスティアンへのアクセス

▲ トランスカンタブリコの豪華列車

自動車

サンティアゴは、高速自動車道AP-9が通り、ガリシア地方沿岸の街やポルトガルを結びます。マドリードからサンティアゴへ向かう場合は、国道A-52と交わるA-6からアクセスできます。また、カンタブリア高速自動車道A-8からは、ガリシア州内、フランスへのアクセスが可能です。

飛行機

市内にあるサンティアゴ＝ロサリア・デ・カストロ空港からは、国内線としてマドリード、バルセロナ、セビージャ、ビルバオ発着の定期便、国際線としてロンドン、フランクフルト、ジュネーブ、パリ発着便が運航しています。街の中心部からたった10キロという近さも魅力です。

鉄道

マドリードやビトリア、バルセロナなど国内都市発着の列車が**毎日**運行しています。特に、スペイン北部のサン・セバスティアンからサンティアゴ・デ・コンポステーラまでを走る**豪華列車**、トラン

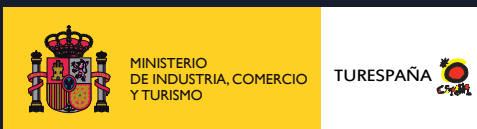
スカンタブリコへの乗車体験は素敵な思い出となることでしょう。食堂車やダンスホール、デラックスなスイートルーム、専用浴室付きの部屋、ハイドロサウナ、ジャクジー、スチームバスなど、さまざまな気配りを感じられる贅を尽くした列車です。自然や文化を満喫しながら、列車の内外で美味しい料理が楽しめるのも魅力です。

バス


マドリードやバルセロナ、セビージャ、ビルバオ、さらにはポルトガルやドイツ、フランス、オランダ、ベルギー、スイスなどヨーロッパ各国へバスが運行しています。

サンティアゴ市内の移動手段

奥地へは行かず、それほど遠くない場所を回るには徒歩がいちばん便利です。自転車や自動車をレンタルするか、タクシーや市バスを利用すれば、すぐ郊外に出られるので、小旅行も楽しめます。



 @spain

 @spain

 Spain.info

 /spain